

米国・欧州主要国の景気概況 < 2006年2月号 >

【目次】

・ 米国経済

- ・ 景気概況：景気は堅調に推移。住宅着工は33年ぶりの高水準を記録 ... p.1
- ・ F R B の金融政策：利上げ継続の可能性が高まる ... p.2
- ・ 主要経済指標 ... p.3

・ 欧州経済

- 1 . ユーロ圏：景気は緩やかに回復。2006年は成長率が高まる見通し ... p.4
- 2 . 英 国 ：家計・企業とも低調で、景気回復テンポは緩やか ... p.7



三菱UFJリサーチ&コンサルティング 調査部

【お問い合わせ先】海外経済班

細尾 (E-Mail : hosoo@murc.jp)

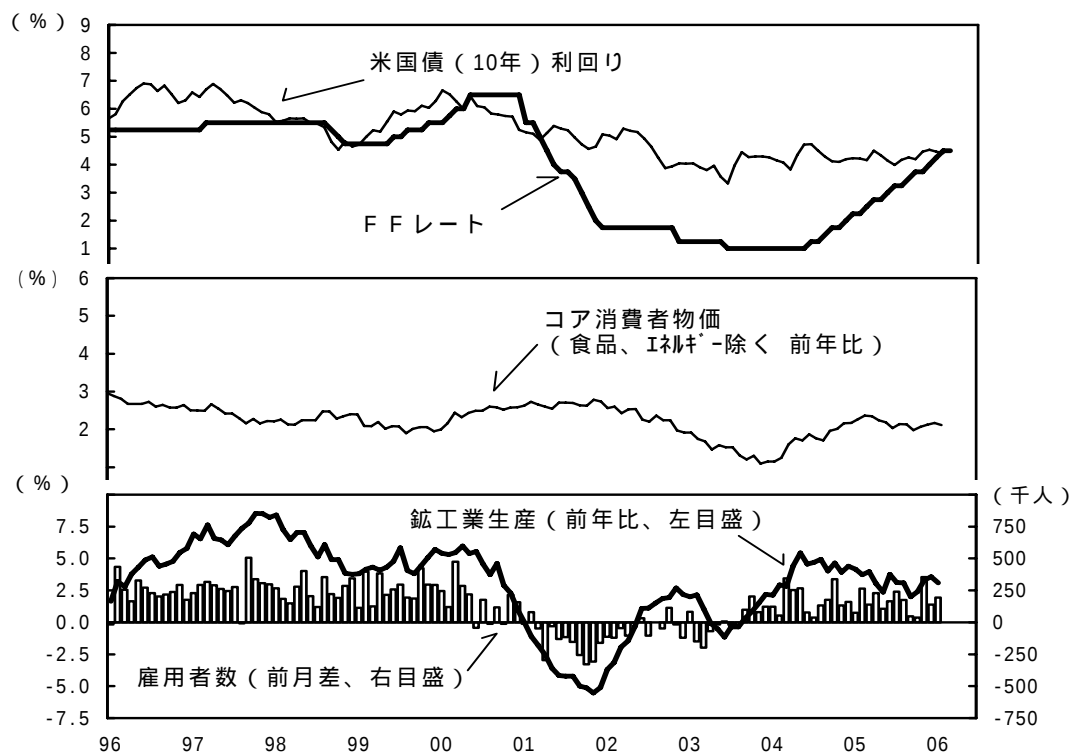
西垣 (E-Mail : hideki.nishigaki@murc.jp)

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

．米国経済

【景気概況】

- ・米国景気は底堅さを示している。2005年10～12月期の実質GDP成長率（速報値）は前期比年率1.1%と、7～9月期の同4.1%と比べ減速したが、これは、自動車販売が昨年夏場に急増したことに伴う反動減によるところが大きい。
- ・2006年に入ってから経済指標をみると、まず家計部門では、1月の小売売上高は前月比2.3%増と1年8ヵ月ぶりの高い伸びを記録した。クリスマス用の贈答品として受け取った商品券の使用や、記録的な暖冬による外出の増加などが消費拡大の要因として指摘されている。また、1月は非農業部門雇用者数が同19.3万人増となり増加ペースが加速したほか、失業率は4.7%と4年半ぶりの水準に低下した。さらに、住宅着工件数は、同じく暖冬の影響もあり33年ぶりの高水準となった。
- ・企業部門については、1月の鉱工業生産は暖冬を背景としたエネルギー部門の低迷などから前月比0.2%の小幅減少に転じた。もっとも、製造業部門では同0.7%増と増勢テンポは拡大した。また、企業の景況感を示すISM製造業景況指数は1月が54.8と3ヵ月連続で前月比低下したものの、景気の拡大・縮小の分岐点となる50の水準を33ヵ月連続で上回った。
- ・海外部門については、2005年12月の貿易赤字が657億ドルと前月から増加した。2005年通年ベースの赤字額は7,258億ドルと、景気の好調による輸入の伸び拡大と原油価格の上昇を背景に4年連続で過去最大となった。
- ・物価については、1月の消費者物価（食品とエネルギーを除くコアベース）上昇率が、前月比0.2%の伸びにとどまり、インフレ率は落ち着いている。



- F R B の金融政策：利上げ継続の可能性が高まる
- ・ F R B（連邦準備制度理事会）の金融政策運営の基礎となる景気・物価判断について最近注目されるのは、1月31日のF O M C（連邦公開市場委員会）声明文の中で示された、「経済資源の稼働率上昇とエネルギー高はインフレ圧力を高める可能性がある」との文言である（下図）。
- ・ 「経済資源の稼働率」という表現は前々回F O M C 声明文（2005年12月13日）から用いられているが、具体的には失業率と稼働率を指すとみられている。もともとF R Bは原油価格の上昇が一般物価に波及することにより、インフレ率が加速する可能性（コスト・プッシュ・インフレ）を懸念していたが、最近ではこうした経路に加え、景気の好調による雇用環境の改善や企業活動の活発化が原因となって、インフレ圧力が一段と高まる可能性（ディマンド・プル・インフレ）に対しても懸念を示すようになってきているとみられる。F R Bはこうした認識のもとで先行きの金融政策について、「経済見通しの変化に対応する」とし、今後、公表される景気指標を慎重に判断していく姿勢を示した（下図）。
- ・ 2月1日にバーナンキがF R B（連邦準備制度理事会）の新議長に就任した。バーナンキ議長は就任後初となる議会証言（2月15、16日）において、景気は力強さを維持しているとし、物価についてはインフレ警戒姿勢を示した。その上で、上述の1月31日のF O M Cの判断に同意すると述べた。
- ・ 今月になって発表された1月の経済指標に注目してみると、失業率が4年半ぶりの水準に低下、設備稼働率も3ヵ月連続で需給逼迫の目安とされる80%を上回った。こうした指標を受けてのバーナンキ議長の議会証言は、3月27、28日の次回F O M Cでの利上げを示唆するものと受け止められている。また、景気の力強さが今後も続く場合には、5月10日の次々回F O M Cでも利上げが継続するとの見方も出てきている。
- ・ 最近のF O M Cの議事録によると、会合では金融引締めが過度になり景気を抑制させるリスクについても議論されており、今後、弱めの経済指標が続いた場合には、利上げを休止する可能性もある。しかし、景気は当面底堅さを持続するとみられることから、前半で2回程度の追加利上げが実施される可能性は十分あるとみられる。

図表．F O M C 声明文（1/31）

最近の経済指標は一様ではなかったが、経済活動の拡大は堅調にみえる。コアインフレ率は数ヶ月間、比較的低水準にあり、より長期のインフレ期待は依然抑制されている。それでもなお、経済資源の稼働率上昇とエネルギー高は、インフレ圧力を高める可能性がある。

当委員会は持続的成長と物価安定のリスクをほぼ均衡させるため、若干の追加引き締めが必要になる可能性もあると判断する。いずれにせよ、当委員会はこうした目標を推進する上で、必要に応じ経済見通しの変化に対応する。

（資料）F R Bをもとに、三菱UFJリサーチ&コンサルティング抄訳

【米国経済指標】

景 気	経 済 指 標	2004	2005	05/2Q	05/3Q	05/4Q	05/9	05/10	05/11	05/12	06/1
要 需	全般										
	実質 GDP (前期比年率)	4.2	3.5	3.3	4.1	1.1	-	-	-	-	-
	I S M製造業指数	60.5	55.5	53.2	56.0	57.0	58.0	58.1	57.3	55.6	54.8
	I S M非製造業指数	62.5	60.1	60.2	59.6	59.8	53.7	59.2	59.3	61.0	56.8
	景気先行指数(CI)	7.4	2.3	0.2	0.4	1.0	-0.9	0.8	0.9	0.3	1.1
	企業収益(税引前)	13.0		2.5	-1.4		-	-	-	-	-
	個人消費										
	消費者信頼感指数(1985=100)	96.1	100.3	102.3	98.9	95.8	87.5	85.2	98.3	103.8	106.3
	小売売上高	7.3	7.5	2.7	1.7	0.5	0.3	0.2	0.9	0.4	2.3
	同 (乗用車を除く)	8.2	8.6	2.4	2.5	1.9	1.3	0.7	-0.3	0.2	2.2
	自動車販売台数(年率、100万台)	16.83	16.87	17.21	17.92	15.85	16.34	14.70	15.70	17.15	17.58
	名目可処分所得	6.1	4.2	0.9	0.4	2.4	3.4	0.5	0.4	0.4	
	個人貯蓄率	1.7	-0.5	-0.3	-1.8	-0.3	-0.5	-0.1	-0.2	-0.7	
	設備投資										
	資本財出荷	11.6	10.3	0.3	0.8	3.5	-0.6	1.7	0.5	3.2	
	同 (前年比)			10.7	7.6	8.5	7.1	7.6	10.2	7.8	
	資本財受注	9.5	10.6	0.5	1.0	2.6	-1.8	1.1	0.1	4.1	
	情報機器出荷	12.2	9.4	0.7	0.7	2.8	-2.1	2.5	-0.1	2.9	
	住宅投資										
	新設住宅着工戸数(年率、万戸)	195.0	207.2	204.4	210.1	205.8	216.0	205.1	213.6	198.8	227.6
	同 (前年比)	5.2	6.3	6.3	6.4	4.3	13.0	-0.5	18.2	-3.0	4.0
	着工許可	5.7	3.1	1.5	2.9	-2.9	3.8	-5.2	2.9	-4.1	6.8
イ	輸出										
	セグメント名目	13.0	10.4	4.8	0.8	2.8	-4.3	2.1	2.8	2.6	
	セグメント実質	9.1	7.2	5.1	-0.9	2.3	-4.9	1.6	3.5	2.6	
	I S M輸出向け受注指数	57.2	55.6	54.5	55.9	55.8	57.3	55.2	57.9	54.3	58.5
	生産										
	鉱工業生産	4.1	3.2	0.4	0.3	1.4	-1.3	1.1	1.1	0.9	-0.2
	同 (前年比)			3.1	2.7	3.1	2.0	2.4	3.3	3.6	3.1
	設備稼働率(%)	78.6	80.1	79.9	79.8	80.6	79.1	79.9	80.6	81.2	80.9
	企業在庫率	1.30	1.27	1.28	1.26	1.25	1.25	1.25	1.26	1.25	
	非農業部門生産性	3.4	2.6	2.1	4.5	-0.6	-	-	-	-	-
	雇用										
	失業率(%)	5.5	5.1	5.1	5.0	4.9	5.1	4.9	5.0	4.9	4.7
	雇用者増(非農業)(千人)	175	165	167	171	194	48	37	354	140	193
	同 (製造業)(千人)	0	-7	-12	-11	-13	-26	9	18	-1	7
	同 (人材派遣)(千人)	13	15	6	6	12	35	3	40	19	14
	労働投入量(民間)	1.6	2.4	0.8	0.6	0.5	0.4	0.0	0.4	0.2	0.2
	輸入										
	セグメント名目	16.9	13.7	2.6	3.1	5.2	2.9	2.5	-1.0	2.2	
	セグメント実質	11.4	6.4	0.1	0.4	3.9	0.5	1.9	0.6	2.9	
	同 (前年比)			5.7	5.0	5.8	6.0	6.0	4.1	7.2	
国際収支	経常収支(10億ドル)	-668.1		-197.8	-195.8		-	-	-	-	-
	貿易収支(セグメント、10億ドル)	-650.9	-766.8	-182.4	-193.3	-208.8	-69.7	-71.7	-68.0	-69.1	
	貿易収支(BOP、10億ドル)	-617.6	-725.8	-172.9	-182.1	-198.3	-65.8	-67.9	-64.7	-65.7	
物 価	生産者物価(最終財)	3.6	4.9	1.1	1.6	1.8	1.4	0.8	-0.4	0.6	0.3
	消費者物価(コア)	1.8	2.2	0.5	0.4	0.6	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2
	同 (前年比)			2.2	2.1	2.1	2.0	2.1	2.1	2.2	2.1
	CPI物価指数(前年比)	2.0	2.0	2.0	1.9	1.9	2.0	1.9	1.9	1.9	
	雇用コスト(民間・未値)	3.9	2.8	0.6	0.8	0.8	-	-	-	-	-
	時間給	2.1	2.8	0.8	0.8	0.8	0.2	0.6	0.0	0.4	0.4
	同 (前年比)			2.6	2.8	3.1	2.7	3.1	3.0	3.2	3.3
財 政	I S M仕入価格指数	79.8	66.4	59.8	63.0	73.7	78.0	84.0	74.0	63.0	65.0
	財政収支(10億ドル)	-412.8	-318.5	45.2	-69.0	-39.8	35.7	-47.2	-83.1	11.0	21.0
金 融	M 2 (前期比年率)	4.5	4.2	2.6	4.5	5.3	5.9	5.5	4.1	5.2	11.8
	国際証券投資(ネット、10億ドル)	763.6	910.7	183.5	272.7	253.8	99.3	105.6	91.6	56.6	
	F F レート(実効レート、%)	1.35	3.21	2.94	3.46	3.97	3.64	3.76	4.00	4.16	4.29
	10年物国債利回り(未値、%)	4.24	4.39	3.94	4.34	4.39	4.34	4.57	4.49	4.39	4.53
	N Y ダウ指数(未値)	10,783	10,718	10,275	10,569	10,718	10,569	10,440	10,806	10,718	10,865
市場データ	ドル実効レート(Broad, 97.1=100)	113.56	110.80	110.66	111.21	112.00	110.70	111.70	112.51	111.79	110.18
	同 (前年比)	-4.6	-2.4	-4.4	-3.1	1.3	-3.4	-1.1	2.3	2.7	0.7
	JOCインデックス	112.93	114.16	111.28	113.62	118.12	120.22	120.47	116.35	117.54	119.15

- (注1) 原則として数字は季節調整済前期比(%)。
 (注2) 雇用者増減数の年計数および四半期計数は月平均ベースに換算。
 (注3) 10年債利回りはコンソリデーション・レート(FRB)
 (注4) 財政収支の年次は会計年度(前年10月～当年9月)
 (注5) 米商務省、米労働省、FRB、コンファレンス・ボード資料などより作成。

・欧州経済

1. ユーロ圏

- ・景気は緩やかに回復している。2005年10-12月期の実質GDP成長率（速報値）は前期比ベースで0.3%と前期から鈍化したものの、前年比ベースでは1.7%と前期から加速した。欧州委員会（2月20日）によれば、2006年の実質GDP成長率は前年比1.9%と予測されている。
- ・家計部門をみると、雇用環境や消費者マインドの改善テンポが鈍いものの、小売売上高（数量）が12月前年比0.8%増と伸びが加速するなど、消費の回復が続いている。
- ・企業部門についても、輸出の拡大などを背景に回復傾向にある。12月の鉱工業生産は、耐久消費財や資本財の増加が続き、前年比2.5%増となった。また1月のユーロ圏景況指数は101.8と前月に続いて上昇した。
- ・物価動向をみると、消費者物価上昇率は1月前年比2.4%と、前月から伸びが高まった。消費者物価上昇率は、ECBが目標とする2%水準を上回る水準が続いている。
- ・こうしたなか、市場では、ECB（欧州中央銀行）が3月2日の定例理事会で、短期レボ金利を0.25%引き上げる（2.25%→2.5%）との見方が増えている。

【ユーロ圏の主要経済指標】

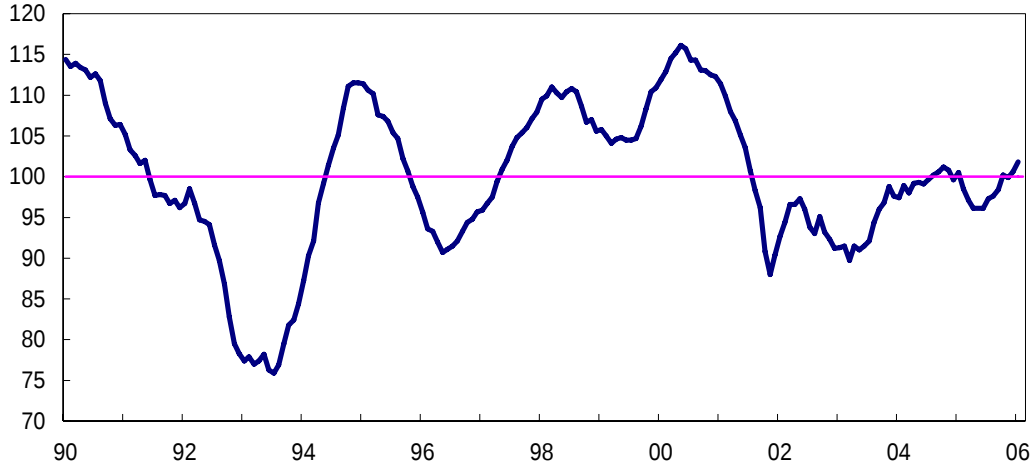
		経済指標	03	04	05	05/	05/	05/	05/	05/9	05/10	05/11	05/12	06/1		
景気	全般	実質 GDP * （上段：前期比）				0.3	0.4	0.6	0.3	-	-	-	-	-		
		（下段：前年比）	0.7	1.8	1.4	1.2	1.2	1.6	1.7	-	-	-	-	-		
		OECD景気先行指数	1.7	4.2	1.0	1.1	0.2	0.8	2.0	1.2	1.7	2.0	2.3			
		景況指数（95=100）*	93.5	99.5	98.2	98.7	96.1	97.8	100.2	98.4	100.2	99.9	100.6	101.8		
	需要サイド	消費	消費者信頼感指数*	-18	-14	-14	-13	-14	-15	-12	-14.3	-13.0	-13.1	-10.8	-10.7	
		小売売上数量* （上段：指数）	102.1	103.2	104.2	104.3	104.0	104.2	104.4	104.1	104.3	104.3	104.5			
		（下段：前年比）	0.4	1.1	1.0	1.5	0.7	0.9	0.8	1.0	0.3	0.6	0.8			
		新車登録	-18.3	2.5	0.6	-1.2	3.0	3.8	-3.0	4.6	-1.3	-2.0	-5.9	6.1		
		投資	建設業	-0.1	-0.2		-3.3	-0.2	1.0		-	-	-	-	-	
		建設業信頼感指数*	-20	-15	-10	-12	-12	-10	-5	-7.6	-7.6	-3.1	-5.5	-3.6		
		輸出	域外輸出金額	-2.3	8.9	7.1	3.4	6.1	9.6	8.9	12.6	6.6	10.5	9.6		
		域外輸出数量*	1.1	8.2		2.4	3.1	7.7		9.3	3.4	7.3				
		供給サイド	生産	鉱工業景況*	-11	-5	-7	-6	-10	-8	-6	-6.7	-5.8	-6.5	-4.9	-4.2
			鉱工業生産* （上段：指数）	100.3	102.2	103.4	102.3	103.1	104.0	104.4	104.2	103.4	104.8	104.9		
	（下段：前年比）		0.3	1.9	1.2	0.8	0.7	1.5	1.9	1.4	0.2	2.9	2.5			
	製造業生産*		0.1	1.9	1.3	1.0	0.5	1.5	2.1	1.5	0.8	3.3	2.3			
	設備稼働率(%)*		81.0	81.5	81.2	81.9	81.1	80.9	81.1	-	-	-	-	-		
	雇用		雇用者数	0.3	0.7		0.8	0.7	0.7		-	-	-	-	-	
	失業率(%)*		8.7	8.9	8.5	8.8	8.6	8.4	8.3	8.4	8.3	8.3	8.4			
	輸入		域外輸入金額	0.5	9.3	12.0	8.6	10.7	14.2	14.2	13.5	11.3	14.2	17.1		
	域外輸入数量*		3.8	5.8		3.0	3.8	4.7		3.2	4.1	3.6				
	国際収支		経常収支（10億euro）	33.8	45.7	-28.8	3.6	-13.6	-3.8	-15.0	-2.4	-7.5	-7.2	-0.3		
			貿易収支（10億euro）	69.6	71.5	23.4	5.8	11.2	7.5	-1.2	1.9	0.6	-0.9	-0.9		
	物価	生産者物価	1.4	2.3	4.1	4.1	3.9	4.2	4.4	4.4	4.2	4.2	4.7			
		消費者物価	2.1	2.1	2.2	2.0	2.0	2.3	2.3	2.6	2.4	2.3	2.2	2.4		
消費者物価（コア）		1.8	1.8	1.4	1.5	1.4	1.2	1.4	1.3	1.4	1.4	1.3				
金融	マネーサプライ(M3)	8.1	5.8	7.4	6.6	7.3	8.1	7.6	8.3	7.9	7.5	7.5				
	3ヶ月物銀行間金利(%)	2.33	2.11	2.19	2.14	2.13	2.13	2.34	2.1	2.2	2.4	2.5	2.5			
	10年物国債金利(%)	4.16	4.14	3.44	3.67	3.41	3.27	3.42	3.2	3.3	3.5	3.4	3.4			
	株価（DJ Euro Stoxx）	213.3	251.1	293.8	276.2	280.1	303.4	315.2	308.4	306.8	312.7	325.7	335.5			
	為替相場（ドル/ユーロ）	1.13	1.24	1.24	1.31	1.26	1.22	1.19	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2			
	名目実効相場	12.4	4.1	-1.4	0.9	0.7	-1.6	-5.1	-1.9	-3.3	-5.5	-6.6	-4.8			
	短期レボ金利（期末値）	2.00	2.00	2.25	2.00	2.00	2.00	2.25	2.00	2.00	2.00	2.25	2.25			

（出所）Datastream（注）原則として数字は前年同期比；%・*は季調値。

< グラフで見るユーロ圏景気 >

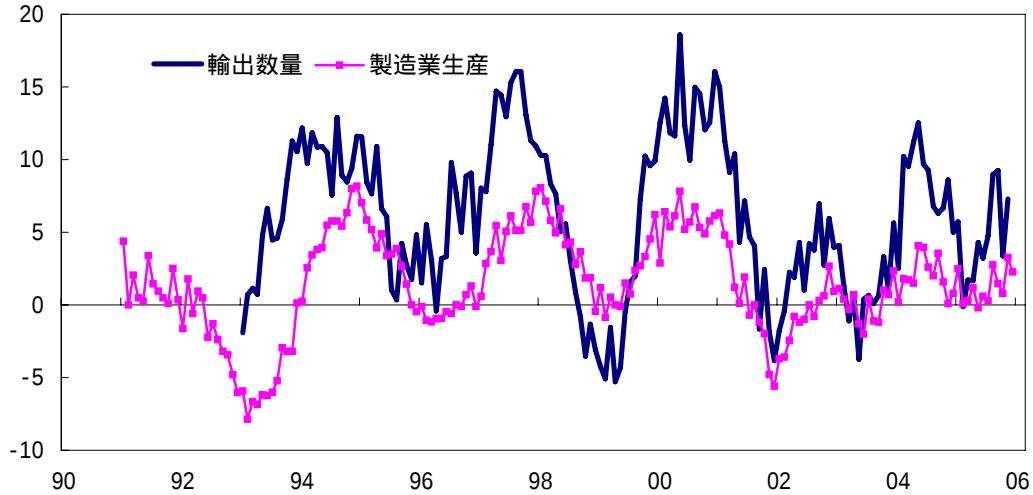
(長期間の平均 = 100)

ユーロ圏：景況指数



(前年比、%)

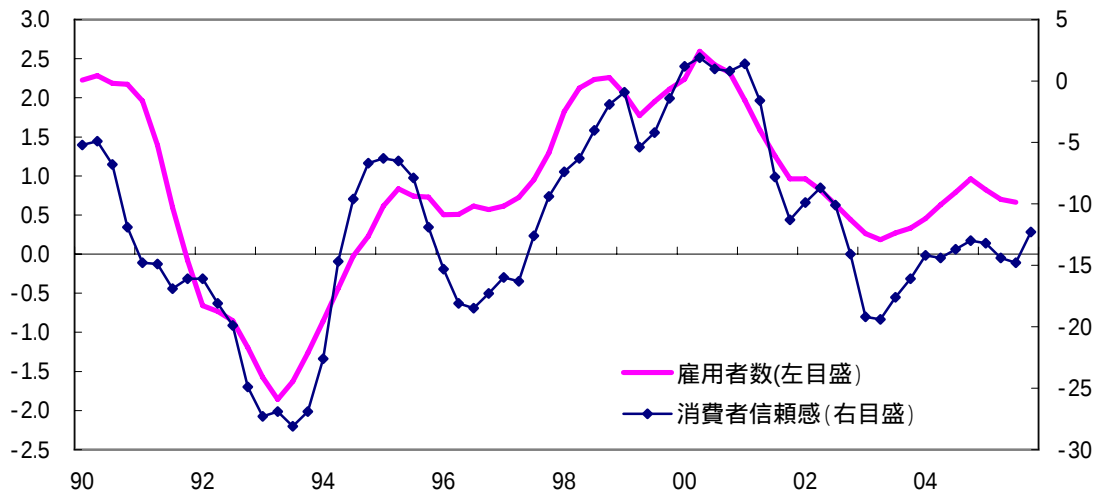
ユーロ圏：輸出と生産



(前年比、%)

ユーロ圏：雇用と消費者信頼感

(%)



(出所) Datastream

< ユーロ圏主要国の経済指標 >

【ドイツの主要経済指標】

	03	04	05	05/	05/	05/	05/	05/09	05/10	05/11	05/12	06/1
実質GDP成長率* (上段: 前期比)				0.6	0.3	0.6	0.0	-	-	-	-	-
(下段: 前年比)	-0.2	1.1	1.1	0.6	0.8	1.5	1.6	-	-	-	-	-
OECD景気先行指数	2.3	5.4	1.1	0.9	-0.4	1.1	3.0	1.6	2.6	2.9	3.6	
IFO企業景況指数	91.8	95.4	95.5	95.1	93.0	95.4	98.6	96.5	98.5	97.7	99.5	101.7
鉱工業生産* (上段: 前期比)	99.5	102.5	105.9	1.0	1.0	1.5	1.1	1.2	1.1	-0.4	-0.6	
(除く建設) (下段: 前年比)	0.4	3.0	3.3	0.1	4.6	3.3	3.5	4.4	1.1	5.4	3.7	
製造業受注*	0.8	5.9	6.3	5.3	3.2	7.8	9.1	8.7	9.9	13.7	4.1	
国内*	0.0	3.9	2.8	1.5	2.1	4.7	3.3	5.8	4.6	7.3	-1.9	
海外*	1.6	8.1	10.1	9.4	4.3	11.1	15.5	11.5	15.7	20.7	10.7	
設備稼働率(%)*	82.7	84.1	83.4	82.7	83.0	83.3	84.4	-	-	-	-	-
建設*	-4.4	-5.5	-5.3	-11.6	-5.1	-2.9	-1.4	-3.3	-0.9	-1.4	-2.0	
建設業信頼感指数*	-53	-51	-44	-52	-47	-42	-36	-38	-38	-35	-35	-32
消費者信頼感指数*	-19	-16	-14	-15	-15	-15	-10	-14	-11	-12	-8	-6
小売売上数量 (除く自動車)*	-0.4	1.5	1.6	2.6	2.1	1.4	0.0	0.5	0.4	0.4	-0.8	
新車登録	-0.5	0.9	1.7	-1.9	6.2	5.1	-2.8	3.5	3.0	-3.0	-8.5	11.3
賃金 (月給、全産業)	2.1	1.3	1.0	1.4	1.1	1.2	0.7	1.1	1.2	0.3	0.9	
就業者数*	-0.9	0.4	-0.3	0.0	-0.3	-0.4	-0.4	-	-	-	-	-
失業者数 (千人)*	4383	4388	4861	4921	4942	4854	4726	4831	4802	4747	4630	4699
失業率(%)*	10.5	10.8	11.2	12.2	11.9	11.6	11.2	11.6	11.6	11.4	11.2	11.3
旧西(%)*	8.4	8.7	9.5	10.2	10.0	9.9	9.5	9.9	9.8	9.7	9.5	9.6
旧東(%)*	18.3	18.8	17.6	19.5	19.0	18.3	17.6	18.3	18.2	18.0	17.6	18.0
輸出金額*	1.9	8.9	7.8	6.8	4.7	9.7	9.9	12.2	10.3	7.6	11.7	
輸入金額*	3.0	6.6	9.0	6.9	8.1	9.1	11.8	9.5	12.0	6.2	17.5	
生産者物価 (鉱工業)	1.7	1.6	4.6	4.1	4.5	4.7	4.9	4.9	4.6	5.0	5.2	5.6
消費者物価	1.1	1.6	2.0	1.8	1.7	2.2	2.2	2.5	2.3	2.3	2.1	2.1
10年物国債金利 (%)	4.09	4.06	3.38	3.63	3.34	3.19	3.36	3.09	3.26	3.46	3.37	3.34
DAX株価指数	3198.3	3983.3	4678.1	4316.6	4399.1	4855.4	5133.1	4946.1	4951.8	5092.5	5346.6	5494.0

【フランスの主要経済指標】

	03	04	05	05/	05/	05/	05/	05/09	05/10	05/11	05/12	06/1
実質GDP成長率* (上段: 前期比)				0.3	0.0	0.7	0.2	-	-	-	-	-
(下段: 前年比)	0.9	2.1	1.4	1.7	1.0	1.7	1.2	-	-	-	-	-
OECD景気先行指数	0.8	5.7	0.8	1.9	-0.2	-0.1	1.7	0.3	1.2	1.8	2.1	
INSEE企業生産見通しDI*(%)	-29	5	-12	-4	-23	-19	-1	-13	-2	0	-2	0
企業収益 (10億euro、年率)*	526	553						-	-	-	-	-
鉱工業生産* (上段: 指数)	99.5	101.3	101.2	101.5	101.0	101.4	101.1	102.0	99.1	102.2	101.9	
(除く建設) (下段: 前年比)	-0.4	1.8	-0.1	0.7	-0.3	0.4	-0.8	0.6	-3.0	1.1	-0.4	
製造業稼働率(%)	84.8	84.1	83.2	84.0	84.6	82.5	81.8	-	-	-	-	-
建設*	0.4	1.9	-	-2.2	-	-	-	-	-	-	-	-
建設業信頼感指数*	-8	3	9	11	7	8	12	8	12	13	10	14
消費者信頼感指数*	-24	-14	-16	-15	-19	-15	-16	-13	-15	-16	-16	-15
小売売上数量* (上段: 指数)	105.3	107.1		107.5	107.2	107.6		107.6	107.2	107.5		
(下段: 前年比)	1.0	1.7		0.8	0.2	0.2		0.3	-0.3	0.0		
新車登録	-6.3	0.2	2.7	3.8	7.2	2.4	-3.2	7.4	-5.8	-2.3	-1.4	2.8
家計工業品消費 (除く自動車)*	1.8	3.2	3.0	3.4	1.7	4.4	2.4	4.1	2.1	3.1	2.1	2.5
就業者数*	-0.3	0.0	0.4	0.2	0.2	0.4	0.4	-	-	-	-	-
失業者数 (千人)*	2724	2729	2611	2775	2748	2678	2611	2678	2665	2634	2611	
失業率(%)*	10.0	10.0		10.2	10.1	9.8		9.8	9.7	9.6		
輸出金額*	-2.6	5.6	4.8	5.6	2.7	4.8	6.0	8.0	1.9	4.8	11.5	
輸入金額*	-1.0	8.2	9.8	12.2	8.7	8.4	9.9	9.0	6.6	11.2	12.0	
生産者物価 (鉱工業中間財)	0.9	2.1	3.0	3.0	2.9	3.1	3.0	3.3	3.0	2.8	3.1	
消費者物価	2.1	2.1	1.7	1.6	1.6	1.9	1.6	2.2	1.8	1.6	1.5	2.0
10年物国債金利(%)	4.13	4.10	3.40	3.65	3.37	3.21	3.39	3.13	3.29	3.49	3.37	3.34
CAC40株価指数	3119.1	3685.3	4269.5	3974.3	4091.1	4434.7	4571.0	4495.6	4471.4	4533.9	4703.2	4839.7

2. 英国

- ・景気は緩やかに回復している。2005年10-12月期の実質GDP成長率(速報値)はサービスの拡大を背景に前期比0.6%と前期(0.4%)から加速した。また12月のOECD景気先行指数は前年水準まで回復した。
- ・家計部門は、消費者マインドや雇用環境の改善が遅れているなか、個人消費の回復の足取りは鈍い。1月の小売売上は前年比1.4%増と前月から鈍化し、新車登録も前年比2桁減と前年割れに転じた。企業部門についても、輸出の拡大が続いているものの、製造業生産は1月も前年比2.2%減と引き続き前年水準を下回った。
- ・物価動向をみると、1月の消費者物価は前年比1.9%と、BOE(イングランド銀行)の目標値(同2.0%)を2ヵ月連続で下回ったものの、エネルギー価格の上昇など先行きのインフレ加速が懸念されている。製造業生産者物価は1月が同2.9%と、前月から高まった。
- ・BOEは、2月9日に開かれた金融政策委員会(MPC)で、政策金利を現行水準(年4.5%)に据え置くことを決定した。据え置きは6ヵ月連続。市場では3月以降、利下げが行われるとの見方も出ている。

【英国の主要経済指標】

	経済指標	03	04	05	05/	05/	05/	05/	05/09	05/10	05/11	05/12	06/1
景気	全般	実質GDP(上段:前期比)			0.2	0.5	0.4	0.6	-	-	-	-	-
		(下段:前年比)	2.5	3.2	1.8	2.0	1.6	1.7	-	-	-	-	-
		CBI企業先行き見通し(%)	-17	7	-19	-22	-15	-16	-21	-	-	-	-
		OECD景気先行指数	-0.8	2.8	-0.8	-1.1	-1.4	-0.2	-0.4	-0.4	-0.7	-0.6	0.0
		企業収益(税引き前)	7.7	7.2		5.0	2.0	-2.3		-	-	-	-
	消費	消費者信頼感指数*	-6	-3	-2	1	-2	-2	-4	-3	-4	-4	-4
		小売売上*	3.1	6.1	1.8	2.8	1.3	0.7	2.5	0.3	1.4	1.9	4.2
		新車登録	0.6	-0.5	-5.0	-7.2	-4.1	-4.0	-4.0	-3.2	-10.8	-7.9	8.7
		住宅着工	7.2	10.1		-3.5	2.2			-	-	-	-
		新規建設工事受注*	-4.6	7.2	6.7	-3.2	8.9	9.9	11.8	21.7	17.9	12.0	5.6
	輸出	輸出*	1.1	1.2	9.6	6.8	9.9	10.9	10.7	11.1	12.9	8.7	10.7
		CBI輸出受注評価	-33	-13	-20	-21	-19	-20	-21	-25	-28	-13	-23
	供給サイド	製造業生産*	0.1	1.8	-0.8	0.0	-1.2	-0.1	-2.0	-1.1	-1.5	-2.2	-2.2
		CBI能力以下操業割合	70	60	58	59	60	54	60	-	-	-	-
		CBI最終品在庫水準評価	17	11	15	10	17	17	15	11	13	15	17
		雇用											
		就業者数*	1.0	0.9		1.0	0.8	0.9		-	-	-	-
	輸入	失業率(%)*	3.0	2.7	2.8	2.6	2.7	2.8	2.9	2.8	2.9	2.9	2.9
		輸入*	1.2	6.3	9.3	8.5	8.2	11.1	9.5	12.7	7.0	9.9	11.6
国際収支	経常収支(10億£)	-16	-23		-7	-1	-10			-	-	-	-
	貿易収支(10億£)*	-48	-60	-66	-16	-15	-17	-17		-6	-5	-6	-6
物価	製造業生産者物価	1.5	2.5	2.8	2.7	2.8	3.1	2.4	3.3	2.6	2.2	2.4	2.9
	消費者物価	1.3	1.4	2.1	1.7	2.0	2.4	2.1	2.5	2.3	2.1	1.9	1.9
	ハリファクス住宅価格指数	18.9	18.8	5.4	10.1	3.8	3.1	5.1	3.1	4.0	4.5	5.2	5.2
	単位労働コスト*	3.2	2.1		3.3	3.6	4.0		-	-	-	-	-
	平均実収	3.4	4.3	4.1	4.5	4.0	4.1	3.5	3.7	3.1	3.4	4.2	
金融	マネーサプライ(M4)	7.2	8.8	12.4	10.4	10.3	10.9	12.4	10.9	11.2	11.8	12.4	11.6
	3ヶ月物銀行間金利(%)	3.69	4.59	4.70	4.86	4.84	4.56	4.56	4.54	4.52	4.57	4.58	4.55
	10年物国債金利(%)	4.47	4.86	4.41	4.66	4.43	4.26	4.29	4.21	4.34	4.32	4.22	4.08
	株価(FT100)	4051	4522	5159	4928	4956	5311	5436	5393	5293	5458	5552	5707
	為替相場(ドル/£)	1.63	1.83	1.82	1.89	1.86	1.78	1.75	1.81	1.76	1.73	1.75	1.77
	実効相場(90=100)	100.2	104.1	103.3	102.9	104.3	103.0	103.2	103.9	103.1	103.2	103.3	102.7
	実効相場(前年比)	-5.5	3.9	-0.7	-1.2	-0.9	-1.7	0.8	0.6	0.9	1.4	0.2	0.6

(出所) Datastream (注) 原則として数字は前年同期比;%, *は季調値。